

第7回 環境放射能除染研究発表会

口頭発表プログラムおよびセレモニー

学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる
技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りします。

7月3日(火) 5階大ホール (9:30~ 開会式)
(10:00~12:00、14:00~14:48 一般発表)
(15:00~17:00 企画セッション)
(17:10~ 学会表彰)

環境放射能除染研究発表会開会式

9:30 開会
開会挨拶
来賓挨拶
除染学会

セッション1. 減容技術(1)

座長: 釜谷 美則 (工学院大学)

10:00	S1-1	Cs捕捉物質及びイオン会合体を用いた水相中のCs濃縮	○大平早希、熊谷将吾、齋藤優子、亀田知人、吉岡敏明(東北大学大学院)
10:12	S1-2	磁気分離を用いた放射性Cs含有細粒分の分離による減容技術の検証(その1)~大量処理に向けた基礎的検討~	○秋山 庸子(大阪大学)、堀江 裕貴(大阪大学)、西嶋 茂宏(福井工業大学)、小澤 一喜(鹿島建設株式会社)、辻本 宏(鹿島建設株式会社)、井関 泰文(鹿島建設株式会社)
10:24	S1-3	磁気分離を用いた放射性Cs含有細粒分の分離による減容技術の検証(その2)	○辻本 宏、小澤 一喜、井関 泰文(鹿島建設) 秋山 庸子(大阪大学大学院工学研究科) 西嶋 茂宏(福井工業大学工学部)
10:36	S1-4	福島県内の農地粘性土壌のマイクロバブル浮選による高速固液分離	○三浦一彦、大橋麻衣子、辻本宏 以上、鹿島建設株式会社 日下英史 京都大学大学院エネルギー科学研究科

10:48~11:00 休憩・時間調整

セッション2. 減容技術(2)

座長: 佐藤 久子 (愛媛大学大学院)

11:00	S2-1	金属イオン含有亜臨界面による土壌分級物からのCsの高速イオン交換回収	○竹下健二(東工大)、稲葉優介(東工大)、内海和夫(東工大)、Yin Xiangbiao(JAEA)、堀内伸剛(三菱マテリアル)、近沢孝弘(三菱マテリアル)
11:12	S2-2	機能性多孔質ガラスによるセシウムの選択的回収及び固定化	○稲葉優介、山下健仁、原 卓飛、針貝美樹、高橋秀治、竹下健二(東京工業大学、原子燃料サイクル研究ユニット)、堀内伸剛、近沢孝弘(三菱マテリアル)
11:24	S2-3	腐植質および粘土粒子を含む希薄有機汚泥の界面化学的固液分離に関する基礎的検討 一粘性土の分級洗浄で発生する含放射性粘土希薄有機汚泥の高速固液分離技術開発	○日下英史・塚越詩織(京都大学)、三浦一彦・辻本 宏・大橋 麻衣子(鹿島建設株式会社)
11:36	S2-4	放射性セシウム含有廃棄物の熔融処理に関する基礎的研究	○上原慧、原田浩希、西崎吉彦、市川誠吾、山本常平、濱利雄(日立造船株)、高岡昌輝(京都大学)
11:48	S2-5	セシウムフリー氫化法を用いた土壌除染における塩化物反応剤と低圧環境の相乗効果	○下山巖1)、小暮敏博2)、奥村大河2)、馬場祐治1) 1)原子力機構先端基礎研究センター、2)東大院理

12:00 終了

13:00~14:00 ポスターセッション(奇数番号) (2階イベントルーム)

セッション3. 減容技術(3)

座長: 米田 稔(京都大学)

14:00	S3-1	モデル鉱物を用いた焼成によるCs揮発挙動と塩化物の添加効果	○常世田和彦、山田一夫(国立環境研究所)、本間健一、市村高央、石田泰之、高野博幸(太平洋セメント(株))、万福裕造(農業・食品産業技術総合研究機構)、大迫政浩(国立環境研究所)
14:12	S3-2	飯館村蔵平における放射性物質の分離による焼却灰及び汚染土壌の資材化実証調査業務	○本間健一(太平洋セメント)、吉川知久(太平洋セメント)、片岡誠(太平洋セメント)、玉重宇幹((太平洋セメント)、大桐哲雄(太平洋セメント)、鈴木務(太平洋セメント)、石田泰之(太平洋セメント)、高野博幸(太平洋セメント)、小林航(日揮)、高橋祐司(太平洋エンジニアリング)、久岡夏樹(環境省)
14:24	S3-3	溶融技術を用いた焼却残さの減容化における廃塩化ビニルの薬剤活用	○釜田陽介、上林史朗((株)クボタ)、吉岡洋仁、永山貴志(クボタ環境サービス(株))
14:36	S3-4	除染廃棄物のガス化溶融スラグに対する放射性Csの長期溶出性と塩基度の影響	○野田康一(1)3)、倉持秀敏(1)、肴倉宏史(1)、森重敦(2)、羽染久(2)、高岡昌輝(3)、大迫政浩(1) 1)(国研)国立環境研究所 2)中間貯蔵・環境安全事業(株) 3) 京都大学

14:48~15:00 休憩・時間調整

【企画セッション】 除染学会—JESCO ジョイントセッション「減容化・中間貯蔵・県外最終処分に向けた技術戦略」

座長: 大迫 政浩 (国立環境研究所)

15:00	KS1-1	環境省の取組状況および今後の課題	環境省環境再生・資源循環局 山田 浩司
15:25	KS1-2	JESCOにおける調査研究・技術開発と今後の取組方針	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 松田 和久
15:50	KS1-3	中間貯蔵施設(大熊1期ワンスルー工事)の建設・運営状況	清水・竹中土木・東洋特定建設共同企業体 大熊中間貯蔵施設1期工事作業所 原田 知博
16:15	KS1-4	土壌再生利用、県外最終処分に向けた課題	国立環境研究所 大迫 政浩
16:40		総合討論	
17:00		終了	

環境放射能除染学会表彰式

17:10 (環境放射能除染学会の表彰規定に基づき、学会表彰を授与いたします)

懇親会

18:00 2階 イベントルーム

7月3日(火) 5階小ホール (10:10~11:58、14:00~17:00 一般発表)

セッション4. 保管貯蔵

座長: 下山 巖(日本原子力研究開発機構)

10:10	S4-1	吸水ポリマーを用いたトリチウム汚染水保管方法の基礎的検討	○榎垣正吾(東京大学アイソトープ総合センター)、大石徹(日鉄住金セメント)
10:22	S4-2	メタカオリンと水ガラスから作成したジオポリマーのセシウム保持能	○市川恒樹(北海道大学・国立環境研究所)、山田一夫(国立環境研究所)、渡邊禎之(東京都立産業技術研究センター)、芳賀和子(太平洋コンサルタント)、大迫政浩(国立環境研究所)
10:34	S4-3	福島県市町村除染技術支援事業における仮置場の不陸対策実証試験その2	○小磯将広、高橋勇介(福島県環境創造センター)、澤井光(茨城工業高等専門学校)
10:46	S4-4	ディープラーニングを用いた画像分析による土質の分類に関する検討	○荻野 晃(安藤ハザマ)、西 邦夫(同)、木川田 一弥(同)、村石辰徳(同)

10:58~11:10 休憩・時間調整

セッション5. 廃棄物対策

座長: 秋山 庸子(大阪大学大学院)

11:10	S5-1	有機廃棄物の効率的な放射性Cs放射能濃度評価手法の検討	○和田 潤、横関まゆみ、杉田 勉(東京電力ホールディングス株式会社)
11:22	S5-2	福島原発事故により発生した放射性粒子の加熱による構造と放射能の変化	○奥村大河(東京大学)、山口紀子(農研機構)、土肥輝美(JAEA)、飯島和毅(JAEA)、小暮敏博(東京大学)
11:34	S5-3	焼却炉排ガス中の放射性セシウム濃度測定方法の微小粒子測定による検証	○庄司貴(日本環境衛生センター)、飯野翔太(日本環境衛生センター)、高橋克行(日本環境衛生センター)、鹿島勇治(日本環境衛生センター)、秋月祐司(日本環境衛生センター)、小山陽介(国立環境研究所)、山本貴士(国立環境研究所)、大迫政浩(国立環境研究所)
11:46	S5-4	放射性物質汚染廃棄物焼却施設における粒子個数濃度測定によるバグフィルタ部分集じん率の評価	○飯野翔太(日本環境衛生センター)、高橋克行(日本環境衛生センター)、庄司貴(日本環境衛生センター)、鹿島勇治(日本環境衛生センター)、秋月祐司(日本環境衛生センター)、小山陽介(国立環境研究所)、山本貴士(国立環境研究所)、大迫政浩(国立環境研究所)

11:58 終了

13:00~14:00 ポスターセッション(奇数番号)

(2階イベントルーム)

セッション6. 計測技術(1)**座長: 河津 賢澄 (福島大学)**

14:00	S6-1	自動車走行サーベイシステムASURAを用いた国道6号線調査について	○後藤淳(新潟大)、高橋剛(新潟大)、千石周(新潟大)、吉田秀義(新潟医療福祉大)
14:12	S6-2	高線量地域における従来型表面透過型RI密度水分計の適用についての提案	○後藤政昭 ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社 井上恵介 石井正紀 重富正幸 池永太一 吉村真 鈴木聡彦 同上
14:24	S6-3	汚染コンクリート中のCs-137とSr-90のイメージングプレートによる分別定量マッピングの基礎的検討	○山田一夫(国立環境研究所) 竹内幸生(元国立環境研究所) 五十嵐豪(東北大学) 大澤紀久(東北大学)

14:36~15:00 休憩・時間調整**セッション7. 計測技術(2)・上下水道への影響****座長: 後藤 淳 (新潟大学)**

15:00	S7-1	空气中放射性セシウムの高感度カウンタの活用	○大島雄志(東芝電力放射線テクノサービス(TRS))、前川 立行(TRS)、寺村 司(TRS)、鶴岡 公敏(TRS)、藤原 栄一(TRS)、市川 亮(TRS)
15:12	S7-2	溜め池底質測定における鉛直分布MEM逆変換の誤差解析	小川浩○、南公隆、川本徹(以上 産総研)、金井羅門、石川晃平、上村竜一(以上 東京パワーテクノロジー)
15:24	S7-3	除染作業に伴うγ線放射特性の変化に関する研究	○中島主策*、小林光*、野崎淳夫**、一條佑介**、吉野博* * 東北大学, ** 東北文化学園大学
15:36	S7-4	原発事故直後に下水処理施設で発生した放射性物質を含む廃棄物の分析	○奥村大河、小暮敏博(東京大学)、岩崎宏和(国土交通省)、末益大嗣(環境省)、遠藤和人(国立環境研究所)、落修一、江藤隆(日本下水道新技術機構)、齊藤進(環境科学開発研究所)

15:48~16:00 休憩・時間調整**セッション8. 環境再生・復旧・復興・野生生物・除染等作業安全****座長: 井倉 将人 (農業・食品産業技術総合研究機構)**

16:00	S8-1	「除染の完了」後における除染に関する課題ー市町村の除染に関する評価と課題認識を踏まえてー	川崎興太(福島大学)
16:12	S8-2	除染等業務従事者等の被ばく線量分布について	○小川 翼(公財)放射線影響協会 上野 哲朗(公財)放射線影響協会 浅野 智宏(公財)放射線影響協会 伊藤 敦夫(公財)放射線影響協会
16:24	S8-3	除染土壌等の輸送車両運転手のヒューマンエラー対策(ドライバーモニタリングシステムの開発)	○丸山敏弘(株式会社安藤・間 土木事業本部 環境エンジニアリング部) 丸山能生(株式会社安藤・間 技術研究所 先端・環境研究部)
16:36	S8-4	イノシシ体内に含まれる放射性セシウム量推定方法の検討-臓器別調査と焼却残渣調査の実施	○斎藤梨絵(福島県環境創造センター)、根本唯(福島県環境創造センター)、大町仁志(福島県環境創造センター)、大迫政浩(国立研究開発法人国立環境研究所)
16:48	S8-5	福島県における放射性セシウムを含む捕獲イノシシの適正処理に関する技術資料の作成	○鈴木隆央、大迫政浩、山田正人、石垣智基(国立環境研究所)、落合知(国立環境研究所・北海道大学(現在))、吉田博文、国分宏城、大町仁志(福島県環境創造センター)、立尾浩一、大塚弘幸、佐藤優衣(一般財団法人日本環境衛生センター)
17:00	終了		

7月4日(水) 5階大ホール

(10:00~12:00 企画セッション)
(14:10~17:00 国際シンポジウム)

【企画セッション】「環境放射能と環境再生に関わる最近のトピックス」

座長：森口祐一(東京大学)

10:00	KS2-1	事故後初期の放射性物質の移流・拡散・沈着の再現	東京大学	森口 祐一
10:25	KS2-2	事故由来放射性物質の生物生態系への影響研究	国立環境研究所	玉置 雅紀
10:50	KS2-3	環境動態はどこまで分かってきたか? ~将来予測のための課題~	原子力機構	飯島 和毅
11:15	KS2-4	福島環境回復と復興創生に向けた未来志向の取組	環境省	峯岸 律子
11:40		総合討論		
12:00		終了		

13:00~14:00 ポスターセッション(偶数番号)

(2階イベントルーム)

環境放射能対策にむけての国際シンポジウム2018

14:00		開会の挨拶		
14:05		日本における除染・中間貯蔵について	(環境省)	
14:35		Remediation policy and remediation programmes following the accident in the Fukushima Daichii Nuclear Power Plant – considerations in view of international guidance and experience		Dr. Gerhard Proehl(元IAEA)
15:25		休憩		
15:40		Perspectives of forestry at the radioactive contaminated territory of the Fukushima Prefecture		Dr. Vasyl Yoschenko(福島大学)
16:30		パネルディスカッション		
17:00		終了		

7月4日(水) 5階小ホール (9:30~12:14 一般発表)**セッション9. 除染減容技術・廃炉関係**

座長: 日下 英史 (京都大学 大学院)

9:30	S9-1	土壤中の放射性セシウム除去の検討	工藤敏彰(有)環境エンジ
9:42	S9-2	メタケイ酸ナトリウムを用いた汚染水処理法	宮城晃・○宇智田俊一郎(マックテクニカルズ販売(株))
9:54	S9-3	森林バイオマスの減容化・低濃度化のための湿式酸化法操作条件の検討	○原田茂樹(宮城大学 食産業学部 環境システム学科)柳澤満則(宮城大学 食産業学部 環境システム学科)
10:06	S9-4	放射性物質によるコンクリート汚染の機構解明と汚染分布推定に関する基礎研究(概説)	丸山一平(名古屋大学)、○渋谷和俊(太平洋コンサルタント)、芳賀和子(太平洋コンサルタント)、五十嵐豪(東北大学)、駒義和(日本原子力研究開発機構)、山田一夫(国立環境研究所)

10:18~10:28 休憩・時間調整**セッション10. 減容技術(4)・最終処分**

座長: 宮脇 健太郎 (明星大学)

10:28	S10-1	除染廃棄物等焼却飛灰に対する灰溶融の基礎的検討	○倉持秀敏, 伊藤浩平, 由井和子, 阿部清一, 大迫政浩(国立環境研究所), 藤原大(神鋼環境ソリューション(現在)・国立環境研究所), 森重敦, 羽染久(JESCO)
10:40	S10-2	廃プラを含む除染廃棄物等のシャフト式ガス化溶融処理における放射性セシウムの挙動	○倉持秀敏, 野田康一, 伊藤浩平, 由井和子, 大迫政浩(国立環境研究所), 鈴木浩(三菱総合研究所), 吉本雄一, 永田俊美, 真名子一隆, 吉元直子, 越田仁(新日鉄住金エンジニアリング), 高岡昌輝(京都大学)
10:52	S10-3	シャフト式ガス化溶融施設におけるセシウム(Cs)形態の推定について	○吉本 雄一1), 永田 俊美1), 真名子 一隆1), 吉元 直子1), 越田 仁1), 大迫 政浩2), 倉持 秀敏2), 由井 和子2), 野田 康一2), 鈴木 浩3) 1)新日鉄住金エンジニアリング(株), 2)国立環境研究所, 3)株三菱総合研究所
11:04	S10-4	再生可能エネルギーの弱点を補う放射性セシウム最終処分システムの提案	○大橋弘範1、小井土賢二1、神谷奈津美2、横森慶信2、上原康滋3(1福島大理工, 2防衛大応化, 3横須賀市産業振興財団)

11:16~11:26 休憩・時間調整**セッション11. 放射性物質汚染汚泥の処理**

座長: 佐藤 理夫 (福島大学)

11:26	S11-1	油水分離槽内に滞留残置ないし汲上保管された事故由来放射性物質に汚染された汚泥(放射性汚泥)処理問題への取組み(その1: 福島環境整備機構の立ち上げ)	○近藤哲(福島環境整備機構)、鬼頭孝通、島悠貴、鈴木浩(三菱総研)
11:38	S11-2	油水分離槽内に滞留残置ないし汲上保管された事故由来放射性物質に汚染された汚泥(放射性汚泥)処理問題への取組み(その2: 放射能濃度測定)	○宮武裕和、高木俊治、鬼頭孝通、島悠貴、鈴木浩(三菱総研)、近藤哲(福島環境整備機構)
11:50	S11-3	福島市堀河町終末処理場での下水汚泥減容処理事業(その1: 課題への対応の体系的整理)	○白井浩介、柳川 玄永、鈴木浩(三菱総合研究所)、石井宏和(日本下水道事業団)、山越博(新日鉄住金エンジニアリング)、岩崎宏和(国総研)
12:02	S11-4	福島市堀河町終末処理場での下水汚泥減容処理事業(その2: 放射性物質対応)	○高木俊治、宮武裕和、鈴木浩(三菱総合研究所)、石井宏和(日本下水道事業団)、山越博(新日鉄住金エンジニアリング)、岩崎宏和(国総研)

12:14 終了

13:00~14:00 ポスターセッション(偶数番号)**(2階イベントルーム)**